

1. 教育の理念

上智短期大学の教育はキリスト教ヒューマニズムに基づいています。その基礎の上に立って、専門分野の学問・研究を行うと共に、カトリシズムの精神を生かした人間形成を目指し、豊かな教養と円満な人格を兼ねそなえた女性の育成を第一の目標とします。

また、姉妹校上智大学と同様、東西の文化をつなぐ役割を第二の目標としています。そのため本学も国際色あふれた教授陣を用意しており、学生は、この雰囲気なかで、おのずから広い視野と国際感覚とを身につけることができるでしょう。

英語科は、国際語である英語の高度な運用能力を身につけ、それを基盤として幅広い教養と柔軟かつ複眼的な判断力と思考力を持ち、異文化を理解し、多様化した現代社会において責任ある地球市民として活躍できる社会人基礎力を具えた人材を育成すると共に、自律した学習者を育て、高度な専門分野の基盤を築くことを目的とします。

学生は、英語を学びながら、languageのspirit（言霊）を把握するよう努力することが求められています。その努力を通じて学生のひとりひとりが自己を発見し、人間性をいっそう豊かにすることができるでしょう。

2. 校名と校章の由来



校章の鷲は真理の光をまがして力強くはばたく鷲をかたどったもので、その姿は上智の本質と理想とを表しています。中央にしるされた文字は本学の標語「真理の光」Lux Veritatisの頭文字です。

上智は海外では早くから、ソフィアの名で親しまれてきましたが、このソフィアは、ギリシャ語のΣΟΦΙΑからとったものであり、その意味は「人を望ましい人間へと高める最上の叡智」です。この叡智こそ、本学が学生に与えようとする究極のものであり、本学の名称“上智”（SOPHIA）にほかなりません。

3. 沿革と年譜

1. 沿革

上智短期大学は、1973年（昭和48年）、学校法人上智学院秦野キャンパスに、上智大学の姉妹校として設立されました。

本学創立の源は、遠く東洋伝道の先駆者聖フランシスコ・ザビエルの宿願に基づいています。東洋にはじめてキリスト教を伝えた、ローマ・カトリック教会の修道会のひとつであるイエズス会の会員のひとりであるザビエルは、1549年（天文18年）に日本に上陸し、日本人の向学心を目のあたりにして都に大学を設立する計画をたてましたが、わずか2年余りの滞日（1549年～1551年）では、実現には至りませんでした。それから約360年を経た1906年（明治39年）、時のローマ教皇ピオ十世が、日本における大学設立の事業を、ザビエルの属したイエズス会に委託したことによって、その念願が実現の緒につきました。こうして、1911年（明治44年）財団法人上智学院が、イエズス会によって、イギリス人・フランス人・ドイツ人会員の派遣をもって創立されました。つづいて1913年（大正2年）、財団法人上智学院は、神と人間を尊ぶキリスト教ヒューマニズムを基底とし、永遠の真理を求めて人間形成に献身する、教員・職員・学生の共同体を教育理念とする、上智大学を設立しました。

1957年（昭和32年）には、社会の要請により、女子学生を迎え入れて、男女共学としました。それ以来、上智大学の女子教育への関心が高まると同時に、女子学生の卒業後の活躍ぶりが社会から高く評価されたことと相まって、1972年（昭和47年）、かねてから神奈川県秦野市に用意されていた校地にイエズス会の会憲の精神に基づいて創立されている聖マリア修道女会の協力を得て、短期大学を設立することとなりました。ジェラルド・バリー師を初代学長に上智短期大学は1973年（昭和48年）4月に開学。第2代学長にダニエル・コリンズ師、第3代学長にハイメ・カスタンエダ師、第4代学長に高祖敏明師が就任し、2009年4月より第5代学長としてフランク・スコット・ハウエル師が就任しています。

上智短期大学も上智大学も、校名「ソフィア」が表している「永遠の真理を知り、真の愛に生きる知恵」をもって、「他の人々のために生きたキリスト」を模範として、国籍や人種を超えて人類社会に貢献する人間形成を目指す、同じ建学精神を有しています。

2. 年 譜

1911年	(明治44年)	財団法人上智学院設立。
1913年	(大正2年)	専門学校令による上智大学設立。
1928年	(昭和3年)	大学令による上智大学(文学部, 商学部)開設。
1932年	(昭和7年)	専門部開設。
1948年	(昭和23年)	新制大学文学部, 経済学部を開設。
1951年	(昭和26年)	私立学校法による学校法人上智学院設立。 新制大学院修士課程開設。
1955年	(昭和30年)	大学院に博士課程開設。
1957年	(昭和32年)	法学部増設。
1958年	(昭和33年)	神学部, 外国語学部増設。
1962年	(昭和37年)	理工学部増設。
1963年	(昭和39年)	上智社会福祉専門学校を設立。
1973年	(昭和48年)	上智短期大学を設立。
1976年	(昭和51年)	大学院学則を改正し, 博士前期・後期課程に変更。
1987年	(昭和62年)	比較文化学部増設。
2005年	(平成17年)	総合人間科学部増設。
2006年	(平成18年)	比較文化学部を改組し, 国際教養学部を開設。
2008年	(平成20年)	理工学部を改組。

4. Campus Ministry

キャンパスミニストリーは、上智短期大学の建学の精神であるキリスト教的な人間形成の理解と実践を目指して、学生や教職員が行うキャンパスでのカトリック活動をサポートします。

カトリック活動

キャンパスミニストリーは年間を通じて次のような活動を行っています。詳しくはキャンパスミニストリーのホームページを参照して下さい。

- ◎ 大学の儀式(入学ミサ, 卒業ミサ, 先哲祭ミサ, クリスマス会など)
- ◎ 誕生ミサ(毎月一回)
- ◎ 祈りの集い
- ◎ バイブルスタディズ
- ◎ 講演会や黙想会の案内
- ◎ 宗教に対する質問や相談
- ◎ 宗教学, 人間学関係の図書の貸出し

キャンパスミニストリーのオフィスは、研究棟2階の4219室にあります。

また、誕生ミサの行われる「聖堂」は3号館3階に位置し、正面に雄大な富士山を眺望する美しい祈りの場です。

5. イエズス会

学校法人上智学院の経営母体であるイエズス会(Societas Jesu, 英語名 Society of Jesus 略称 S. J.)は、日本にキリスト教を伝えた聖フランシスコ・ザビエル(1506-1552)らとともに聖イグナチオ・デ・ロヨラ(1491-1556)によって1540年に設立されました。現在全世界に約213,000人の会員を擁し、使徒的修道会として世界各地で800余校の中高校・大学及び研究, 教会司牧, 黙想指導, 著述, 出版をはじめとする様々な活動に携わり、現代世界に福音をもたらそうとつとめています。

聖イグナチオは、自分の受けた霊的体験を「霊操」と書物にまとめ、それを土台としてイエズス会を創立しましたが、「霊操」の中で次のような“原理と基礎”を述べています。

《もっとも大切な原理と基礎》

私たちの人生の目的は神と共に永遠にいきること
 神は私たちを愛して、私たちに命を与えられた。
 私たちが神の愛に応えるならば、神の命が限りなく私たちに流れ込む。

この世界の全てのものは神からの贈り物。
 神がもっとよくわかるように、神をもっとよく愛しかえすように、
 神がこの贈り物を私たちに示された。

だから、神の贈り物全てを、もし、それが人びとを愛する助けとなるなら、
 私たちは大切に使う。
 でも、神のどんな贈り物であれ、それが私たちの人生の中心となるなら、
 それが神にとってかわり、私たちが目的にむかって成長するのを妨げる。

だから、毎日の生活において、神が創られた全ての贈り物を前にして、選ぶことができ、義務に拘束されていない限り、心の均衡を保たなければならない。
 健康か病気か、裕福か貧乏か、成功か失敗か、長生きか早死にか、どちらかにこだわるべきではない。
 なぜなら、全てのものが、神の内にある私たちの命にもっと深く応えるように私たちを呼び起こす力を秘めている。

私たちの唯一の望み、私たちの唯一の選びはこれであるべきだ。
 私は求め、私は選ぶ。私の内にある神の命を深めるようよりよく導くものを。
 (聖イグナチオ・デ・ロヨラの「靈操」から)

6. サービスラーニング

サービスラーニングとは「社会参加、実践を通じた学外での学びと、授業などの学内での学びの融合」を意味します。ボランティア活動などの社会奉仕活動(サービス)を通して社会参加を行い、そこで得られる学びと授業を通して得られる学びを効果的に結びつけて、「社会の知恵」と「教室の知識」を融合する試みです。本学のサービスラーニング活動は上智短期大学の教育理念の三つの柱、即ちキリスト教ヒューマニズム、国際性、言語教育と密接に結びついています。キリスト教ヒューマニズムに則った他者への奉仕、国際性を培い言語教育の実践である地域の外国籍市民を対象とした日本語支援や教科学習支援、そして地域の教育機関で行う英語教育支援及び日本語教育支援ボランティアは、本学におけるサービスラーニング活動の中核を成します。地域社会における異文化間・異世代間のコミュニケーションは、学生にとって自分自身を見つめ直し、自己形成を行うための貴重な機会となります。「他者のために」「for others」そして「他者と共に」「with others」の精神を体現・実践するそれらの活動を通して学生は社会人基礎力と人間力を成長させてゆきます。そのことは共同体と社会の主體的な構成員として、自らの意思によって積極的に共同体と社会を形成し育むと同時に、確かな責任を担うことのできる女性への成長と繋がるのです。

以上のような学生の活動を支援するために、本学は2008年にサービスラーニングセンターを学内に設置しました。サービスラーニングセンターは、地域社会への窓口となり、地域の教育機関、公的機関、団体、及び家庭と連携し、本学学生が行う様々なボランティア活動を支援します。そのために、センターには専任教職員を中心に構成されるコーディネーター及びチューターと呼ばれるスタッフが配属されています。コーディネーターとチューターは、ボランティア学生と派遣先を繋ぐだけでなく、教材選び、レッスンプランの作成、教授法などのへの支援も行います。また人間関係上の精神的な支援も行います。本学のサービスラーニングに対する総合的な試みは、2008年度文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(GP)」に採択され、今後もさらなる活動の充実を目指しています。サービスラーニングセンターは2号館・ソフィアホール2階に位置しています。

【サービスラーニングセンター開館時間】

平日9:00～18:00 (窓口取扱時間は10:00～11:30, 12:30～18:00)

※夏・冬の一斉休暇、特別な場合の開館時間・窓口取扱時間は、その都度掲示します。

1. 日本語・教科支援ボランティア活動

1988年に本学学生と教職員によって外国籍市民宅でスタートしたボランティア活動では、日本語や教科の学習支援と日常的な生活支援を行ってきました。ボランティア学生は、外国籍市民に日本語や教科を教えることにより異文化や語学教育への理解を深め、主体的な奉仕の精神を体験的に学ぶと同時に、秦野市近隣地域に社会人として参加する機会も得ています。この取り組みは2004年度の文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム(GP)」に採択され、学外からも注目され高い評価を得ています。

2008年度には、秦野市の教育機関との連携のもとに、市内の小中学校へ本学学生が赴いて日本語教育支援を行うボランティア活動も始まりました。地域の学校内の「国際教室」では、日本語学習支援の必要な外国籍児童の取り出し授業が行われていますが、そこへ本学の学生が行き、国際教室の先生の指導のもとで日本語支援を行なっています。また、通常の教室内の授業に入り、外国籍児童に寄り添う形で授業に参加したり、児童ホームや公民館など、教育機関以外にも連携の幅を広めて活動しています。

2. 英語教育ボランティア活動

学習指導要領の改訂によって、2002年度より小学校の教育課程に「総合的な学習の時間」が導入され、その一環として「国際理解教育」の名のもとに英語（英会話）を教えることもよいこととなりました。上智短期大学の英語科として、特に地域の学校に対して、何か貢献できることはないだろうかと考えていたところに、実際に地元の小学校からの要請があり、2002年度末に発足したのがこの英語教育ボランティアです。現在は秦野市を中心に公立の幼稚園や小学校でボランティア授業を行っており、活発なサービスラーニング活動を展開しています。

7. 役職者・教員組織

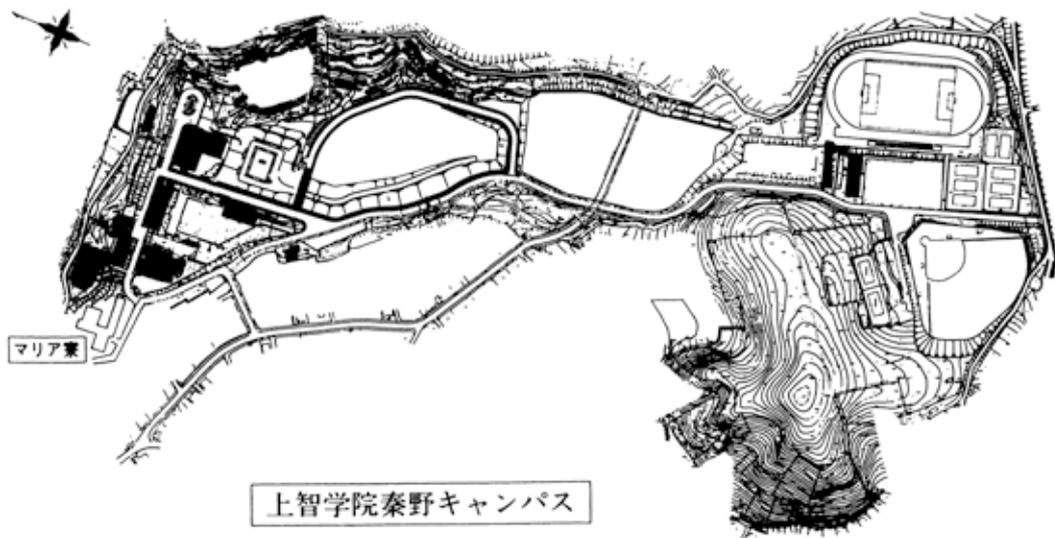
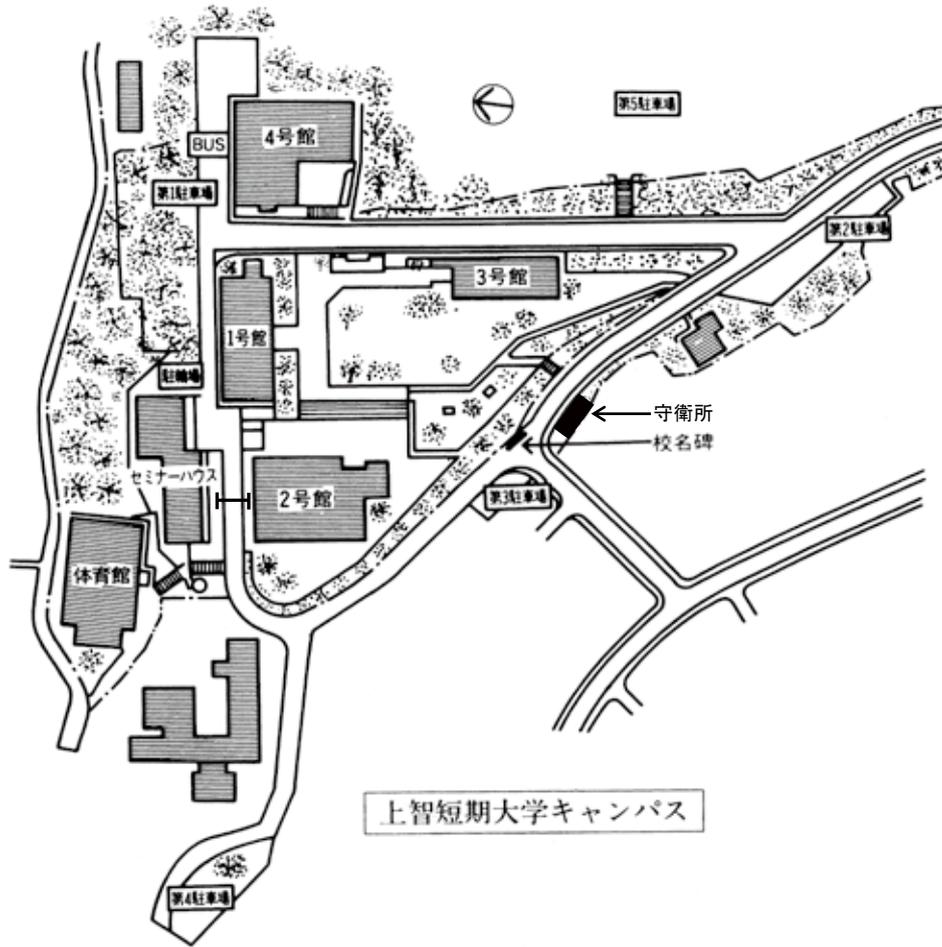
理事長 高祖 敏明
 学長 Frank Scott Howell
 科長 高野 敏樹

1. 英語科

学長 (上智大学教授)	Scott Howell	標準英語スキルズ [®] (パブリックスピーク [®]), 標準英語スキルズ [®] (テキストアクション), 上級英語スキルズ [®] (テキストパート), 上級英語スキルズ [®] (ライティング)
教授	高野 敏樹	日本国憲法, 法学, 比較政治制度論, 国際関係論, プレ・ゼミナール, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ
教授	Melvin Andrade	英語Ⅰ, 英語Ⅱ, 社会正義のグローバルリテラシー, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ
教授	平野 幸治	英語Ⅰ, 英語Ⅱ, 上級英語スキルズ [®] (編入対策), 映画と文学, 基礎ゼミナール, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ
教授	Kenneth Williams	英語Ⅰ, 英語Ⅱ, 英語Ⅲ, ビジュアル・レトリック, プレ・ゼミナール, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ
准教授	飯田 純也	留学準備, 演劇研究, 英文学概論, プレ・ゼミナール (2010年度春学期 サバティカル)
准教授	近藤 佐智子	英語Ⅰ, 英語Ⅱ, 言語学概論, 通訳演習, プレ・ゼミナール, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ
准教授	森下 園	歴史学, 西洋研究, 比較社会史, 日本文化, 基礎ゼミナール, プレ・ゼミナール, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ
准教授	永野 良博	英語Ⅰ, 翻訳演習, 小説研究, 上級英語スキルズ [®] (多読速読) (2010年度秋学期 サバティカル)
准教授	神谷 雅仁	英語Ⅰ, 英語Ⅱ, 社会言語学, 留学準備, 基礎ゼミナール, プレ・ゼミナール, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ
准教授	Timothy Gould	英語Ⅰ, 英語Ⅱ, 児童英語教育演習, 第二言語習得, プレ・ゼミナール, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ
准教授	宮崎 幸江	日本語教育概論, バイリンガル教育, 日本語学, 日本語教育演習, 基礎ゼミナール, プレ・ゼミナール, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ
准教授	Chris Oliver	英語Ⅰ, 英語Ⅱ, 異文化間コミュニケーション, 文化人類学, プレ・ゼミナール, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ
講師	杉村 美佳	世界の教育, 初等教育, プレ・ゼミナール, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ
講師	岩崎 明子	英語Ⅰ, 人間学Ⅰ, 人間学Ⅱ, 児童英語教育概論, キャリアプランニング (コディネーター), 基礎ゼミナール, プレ・ゼミナール, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ
助教	小林 宏子	人間学Ⅰ, 人間学Ⅱ, 宗教学, キリスト教文化入門(コディネーター), 基礎ゼミナール, 基礎ゼミナール(再), プレ・ゼミナール, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ
助教	狩野 晶子	英語Ⅰ, 英語Ⅱ, 児童英語教育概論, 児童英語教材論, 基礎ゼミナール, プレ・ゼミナール, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ
非常勤講師	秋庭 大悟	英語Ⅲ, 英語Ⅳ, 基礎英語スキルズ [®] (リーディング), 標準英語スキルズ [®] (TOEIC対策)
非常勤講師	裊 哲求	標準英語スキルズ [®] (TOEIC対策), 上級英語スキルズ [®] (職場の英語)
非常勤講師	Richard Burton	英語Ⅲ, 英語Ⅳ, 上級英語スキルズ [®] (学術論文作法)
非常勤講師	池 成林	英語Ⅱ, 英語Ⅲ, 英語Ⅳ, 音声学
非常勤講師	Rosa Maria Cortés	人間学Ⅰ, 人間学Ⅱ, 哲学
非常勤講師	Jennifer Dizon	英語Ⅲ, 英語Ⅳ, 標準英語スキルズ [®] (ライティング)
非常勤講師	Gregory Freddes	英語Ⅲ, 英語Ⅳ, 標準英語スキルズ [®] (アカデミックスクリブ), 現代美術
非常勤講師	深澤 英美	英語Ⅲ, 英語Ⅳ
非常勤講師	神門 しのぶ	教育学

非常勤講師	服部 通子	標準英語スキル [®] (旅行の英語), 標準英語スキル [®] (リーディング [®]), 標準英語スキル [®] (文法・語彙)
非常勤講師	林 百合	心理学, 児童心理学
非常勤講師	樋口 万喜子	日本語表現法
非常勤講師	廣重 聖佐子	中国語 I, 中国語 II
非常勤講師	Jadwiga Hirai	英語 III, 英語 IV, 標準英語スキル [®] (職場の英語), 標準英語スキル [®] (メティアの英語)
非常勤講師	石原 久子	基礎英語スキル [®] (文法・語彙), 基礎英語スキル [®] (ライティング [®]), 基礎英語スキル [®] (リーディング [®]), 標準英語スキル [®] (リーディング [®])
非常勤講師	加藤 誠	数学
非常勤講師	河北 祐子	日本語表現法
非常勤講師	木皿 久美子	体育理論・実技 1
非常勤講師	北村 さおり	音楽
非常勤講師	國分 有穂	英語 III, 英語 IV, 標準英語スキル [®] (リーディング [®])
非常勤講師	駒形 淳一	情報概論
非常勤講師	小寺 敦之	マスメディア論
非常勤講師	工藤 花野	ドイツ語 I, ドイツ語 II
非常勤講師	榎田 絢子	人間学 I, 人間学 II
非常勤講師	宮越 俊光	人間学 I, 人間学 II
非常勤講師	森澤 陽子	社会福祉入門
非常勤講師	鍋谷 郁太郎	ヨーロッパ社会史, ヨーロッパ現代史
非常勤講師	Maria Nepomuceno	英語 III, 英語 IV, 基礎英語スキル [®] (生活の英語), 標準英語スキル [®] (職場の英語)
非常勤講師	小澤 共子	体育理論・実技 2, 体育理論・実技 3
非常勤講師	島 直子	社会学
非常勤講師	白瀬 宗範	経済学
非常勤講師	田畑 幸嗣	東洋研究 A, 東洋研究 B
非常勤講師	田村 和子	人間学 I, 人間学 II
非常勤講師	Satish Tandon	英語 III, 英語 IV, 標準英語スキル [®] (生活の英語)
非常勤講師	Alicia Yáñez	スペイン語 I, スペイン語 II
非常勤講師	横田 千晶	フランス語 I, フランス語 II

8. 本学の施設

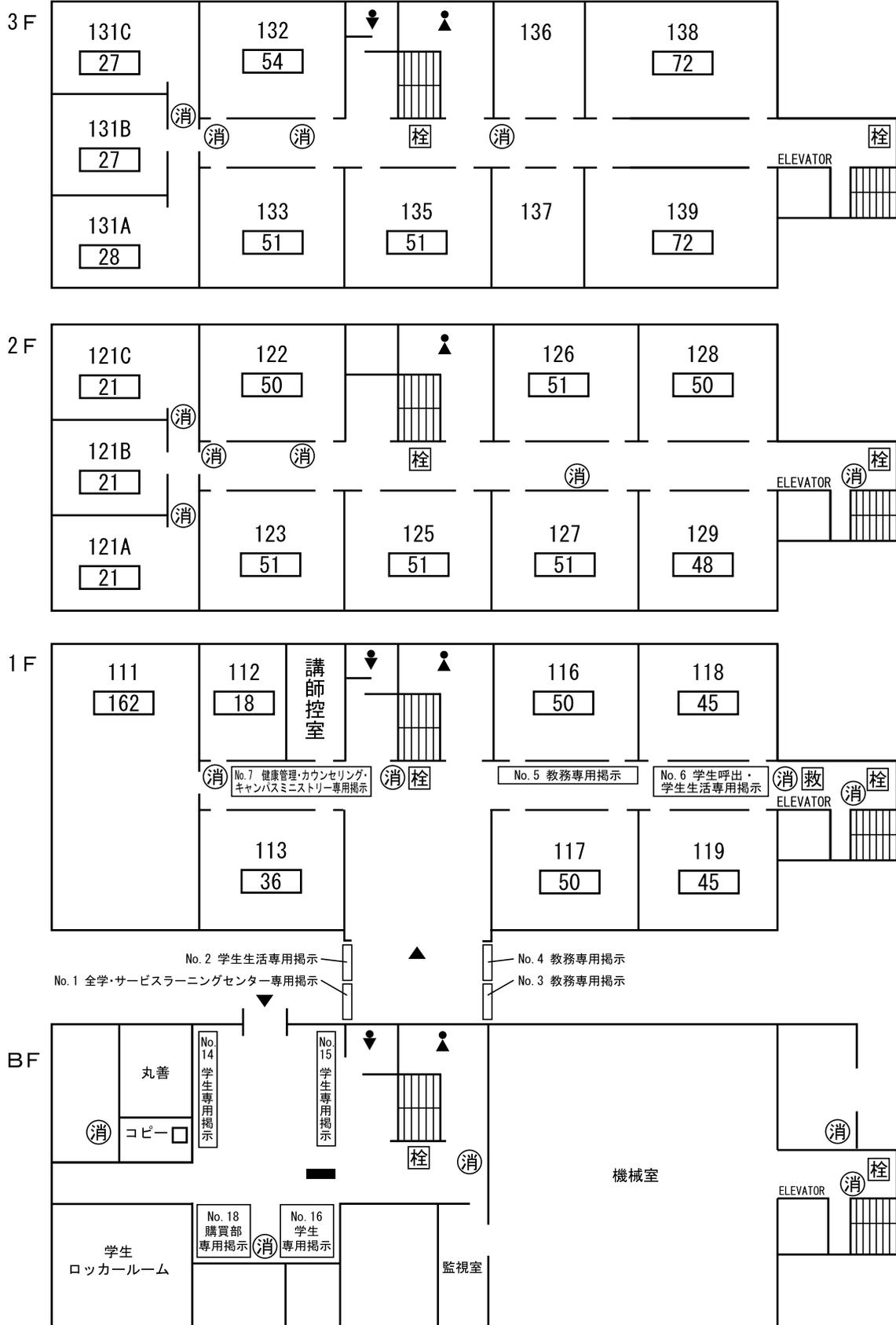


施設一覧

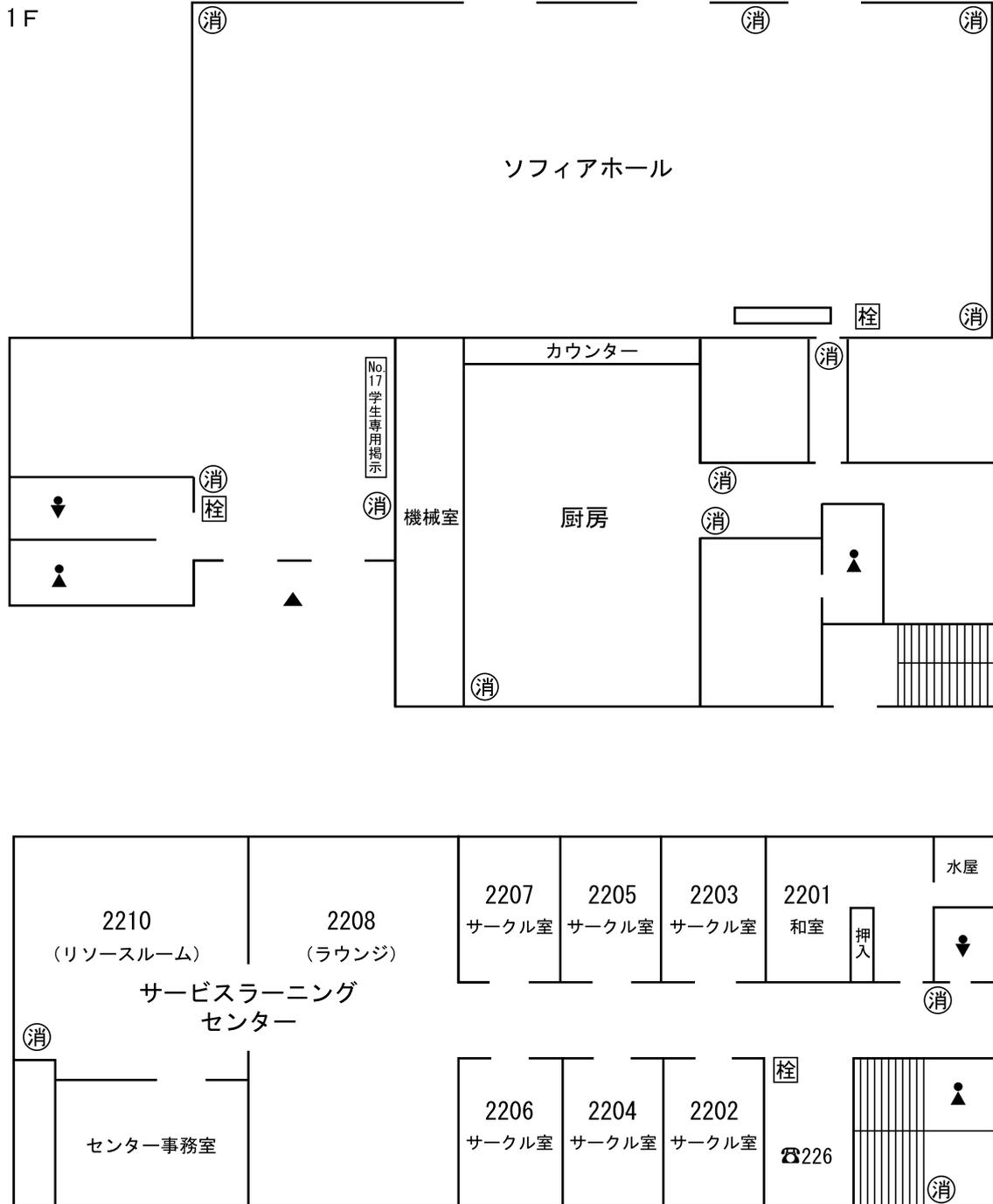
建物	教室番号	面積(m ²)	3人机	1人机	椅子	教卓, 椅子	教壇	備品等	備考		
1号館 校舎棟	F	111	156	54		162	1	2	VTR暗幕, DVD	PCプロジェクター, スクリーン	
		112	37	6		18	1				
		113	63		36	36	1			PC37台, スクリーン	
		116	63		50	50	1	2	VTR暗幕	スクリーン	
		117	63		50	50	1		VTR, DVD	スクリーン	
		118	63	15		45	1	2	VTR, DVD	スクリーン	
		119	63	15		45	1		VTR, DVD	スクリーン	
		講師控室	25	テーブル・4席							
	2	F	121A	44		21	21	1		VTR, DVD	スクリーン
			121B	48		21	21	1		VTR, DVD	スクリーン
			121C	44		21	21	1		VTR, DVD	スクリーン
			122	63		50	50	1	2	VTR暗幕, DVD	スクリーン
			123	63	17		51	1	2	VTR, DVD	スクリーン
			125	63	17		51	1	2	VTR, DVD	スクリーン
			126	63	17		51	1	2	VTR, DVD	スクリーン
			127	63	17		51	1	2	VTR, DVD	スクリーン
			128	63		50	50	1		VTR, DVD	スクリーン
			129	63		48	48	1		VTR, DVD	スクリーン
	3	F	131A	44		28	28	1		VTR, DVD	スクリーン
			131B	48		27	27	1		VTR, DVD	スクリーン
			131C	44		27	27	1		VTR, DVD	スクリーン
			132	63	18		54	1	2	VTR, DVD	スクリーン
			133	63	17		51	1	2	VTR, DVD	スクリーン
			135	63	17		51	1		VTR, DVD	スクリーン
			136	37							倉庫
			137	37							倉庫
			139	91	24		72	1	2	VTR, DVD	スクリーン
		139	91	24		72	1	2	VTR, DVD	スクリーン	
	建物	教室番号	面積(m ²)	3人机	1人机	椅子	備品等		備考		
	2号館 食堂棟	1	ロビー	56			12	ロビーチェア (30席)		自販機コーナー	
		F	カフェテリア	620	(6人用) 73		438			食堂	
		2	2201	26			0	座卓 (×1), 座布団 (×10)		和室 (12.5畳), 水屋付	
			2202	11			0	スチール書庫		サークル室	
2203			11			0	スチール書庫		サークル室		
2204			11			0	スチール書庫		サークル室		
2205			11			0	スチール書庫		サークル室		
2206			11			0	スチール書庫		サークル室		
2207			11			0	スチール書庫		サークル室		
2208			79		(4人用) 10	40	ホワイトボード (×2), コートハンガー, PC3台 (プロジェクター・スクリーン予定)		サービスマーケティングセンター (ラウンジ)		
2210	65		(2人用) 4 (6人用) 1	14	ホワイトボード, 書架		サービスマーケティングセンター (リソースルーム, センター事務室)				
3号館 管理棟	1	印刷事務室	41								
		印刷室	49								
		倉庫	57								
	F	進路資料室	37	テーブル (×2)・16席・PC6台							
		健康管理室	90	5ベッド							
		カウンセリングオフィス	17								
		短大事務センター	115								
	2	学長室	37								
		第1会議室	50	テーブル (×7)・14席							
		第1応接室	17	5席							
第2応接室		17	5席								
放送室		9	時報								
3	聖堂	60	60席 ルーフガーデン								
	F	キャンパスミストリー	22								
4号館 研究棟	1	411	185	68		204	1	2	プロジェクション		
		412	185	64		192	1	2	システム	ピアノ	
		(大教室)	(420)	(104)		(312)	演台		VTR, DVD	講演会形式	
				(0)		312折288	脇台		AUDIO	セレモニー形式	
	F	413	613	集密書架 (単×1・複×11) 書架 (複式5連×14) 閲覧席82, A-V視聴席3							
		414	170	PC49台 (メインルーム37, オープンルーム16)							
	2	F	第2会議室	73	テーブル (×12)・24席 ホワイトボード 電話台 その他 付属倉庫用物品棚						
			第3会議室	21	テーブル (×4)・10席 ホワイトボード 電話台 その他						
		教材準備室	45	作業用テーブル (×2)・椅子 (×4)・PC2台 プリンター1台 シュレッダー リソグラフ VTR DVD							
		英語科学習支援室	45	机・椅子							
		講師室	45	テーブル (×2)・ソファセット一式・個人ロッカーその他							
		相談室	23	事務用デスク・椅子 テーブル・椅子 コートハンガーその他							
		F	史資料室, 同窓会室	22	デスク・椅子						
			キャンパスミストリー	22	デスク・椅子						
研究室×16			22×16	デスク・椅子 作業用テーブル・椅子 (×4) 書架 (5連)・ロッカー							
コピー室			4	コピー機・シュレッダー							
	湯沸室	4	冷蔵庫								
体育館	(コート面)	441	(折) 600バスケ×1 or バレー×1 or バレー×2								

1号館（校舎棟）

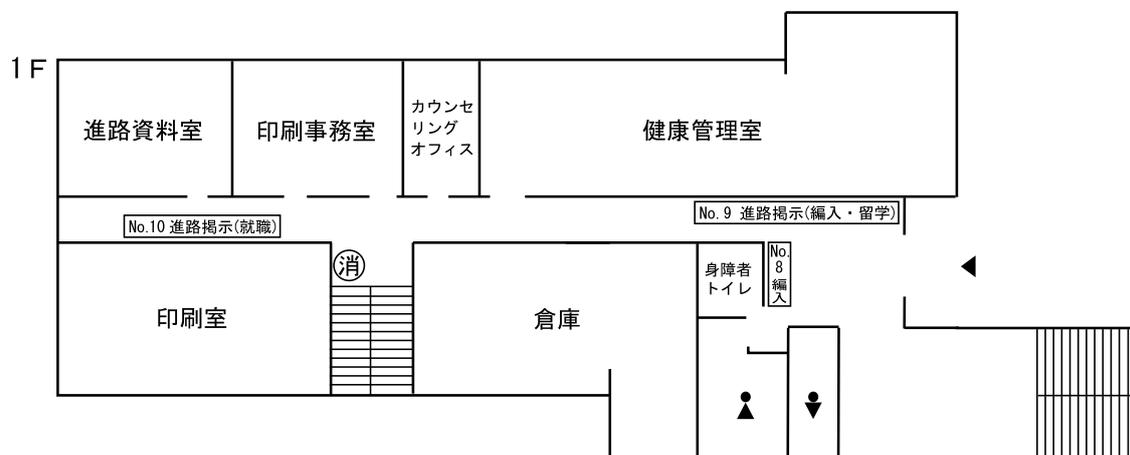
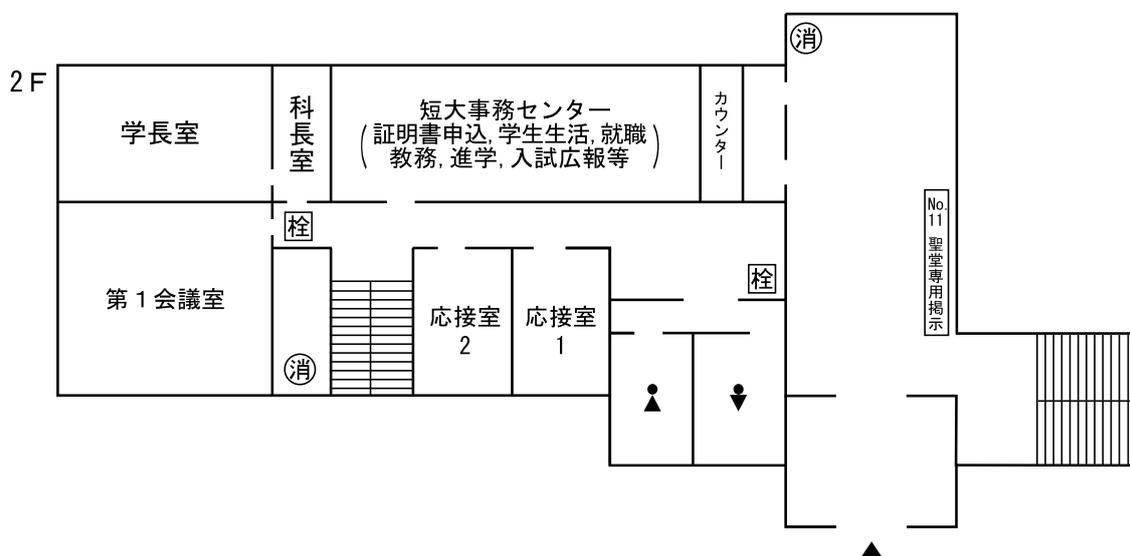
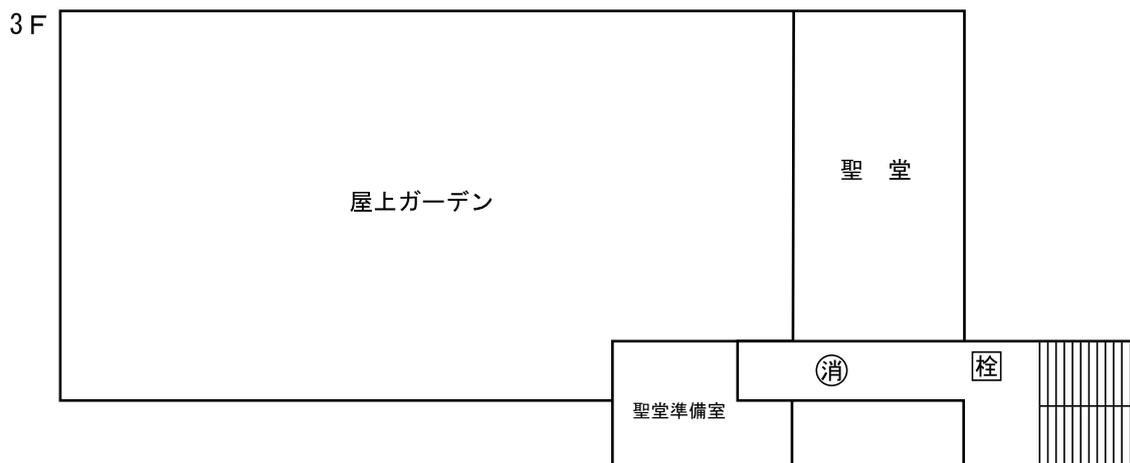
※ 消 消火器 ※ 栓 消火栓 ※ 救 救急用担架



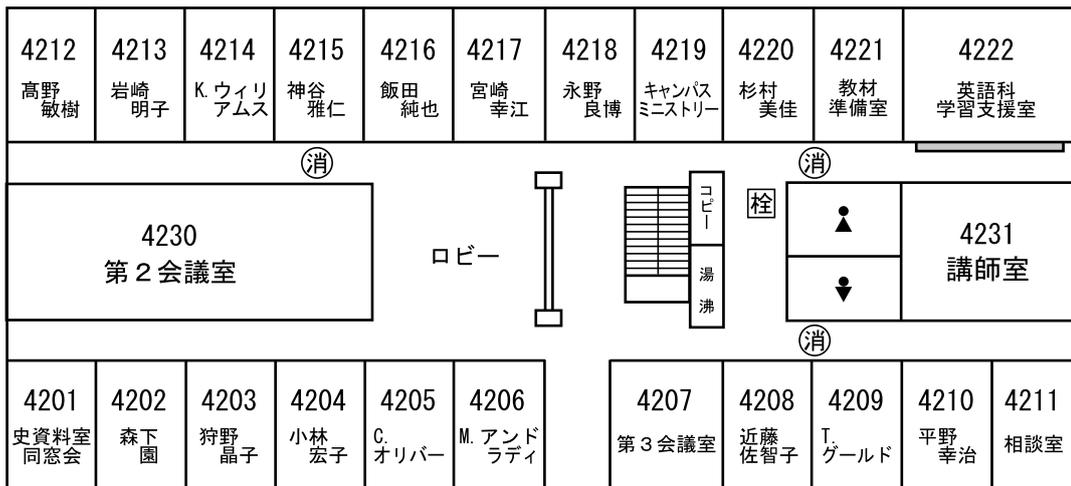
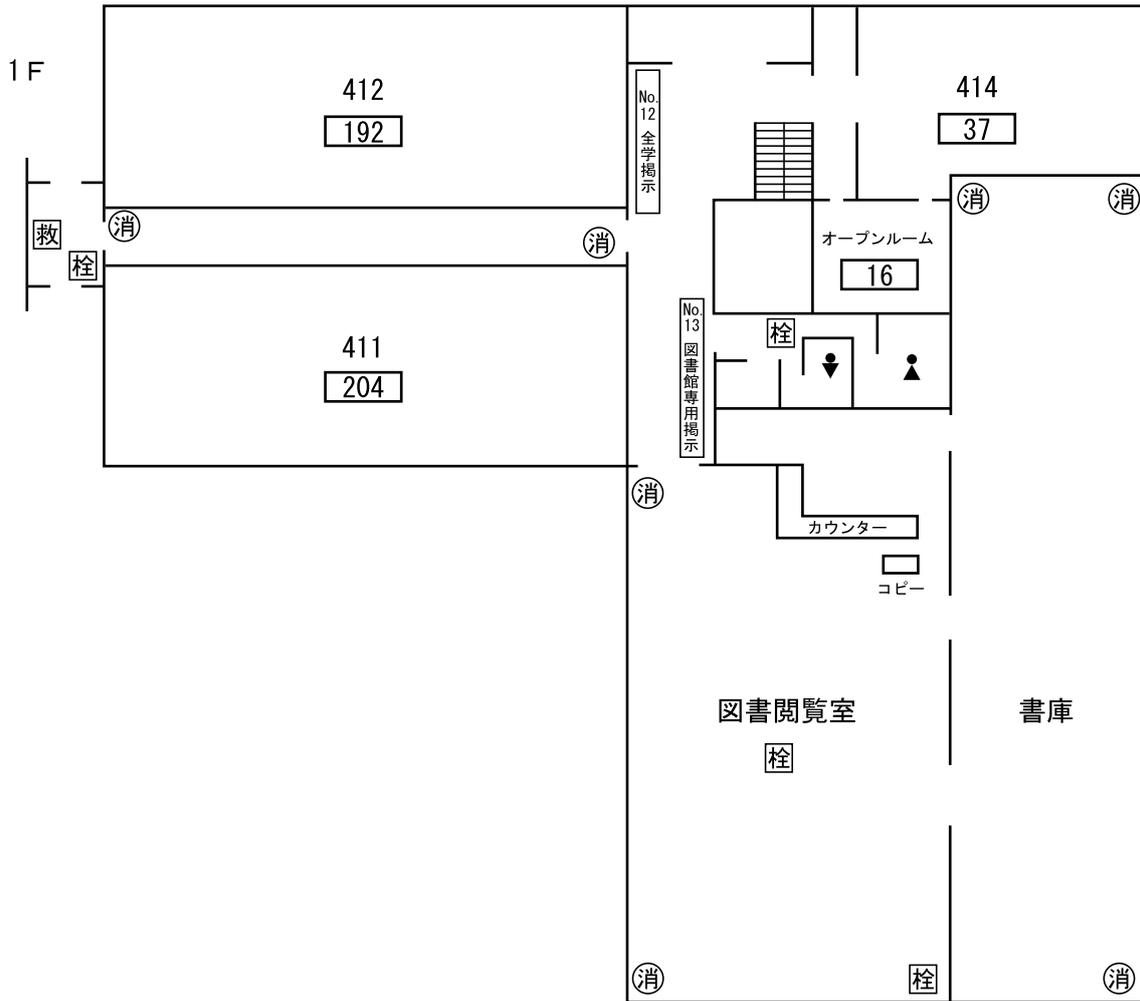
2号館（ソフィアホール・課外活動共同利用施設）



3号館（管理棟）



4号館（研究棟）



(体育館) 体育研究室—小澤・木皿